



Q 岡義博法律事務所報 第56号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階

TEL (087) 821-1300

FAX (087) 821-1833

MAIL oka-law@kln.ne.jp

HP http://www.kln.ne.jp/oka-law/

新 元 号

所 長 弁 護 士 岡 義 博

新しい元号が「令和」に決まった。万葉集の梅花の巻の序文からとったもので、春の初めの全てが和らいだ様子をあらわしたものだそうである。

思えば平成という時代は、災害に明け暮れた時代であった。阪神大震災、東日本大震災をはじめ、多数の台風の襲来があった。火山の噴火もあった。これらは自然災害であるが、最も大きな災害である戦争に巻き込まれることはなかった。戦争は人災であり、人間の努力によって防ぐことが出来るものである。

元号は、近年、1人の天皇の時代で1元号とされている。平成という元号は平和な世の中に成るようという願いが込められたものである。その意味で、戦争がなかった平成時代は、人々の願いが通じたということだろうか。

人々は戦争の悲惨さを自分のものとして受け取り、平和を目指す努力を続けていかなければならない。

天皇は、日本国憲法において、日本国の象徴であり、日本国民統合の象徴であるとされている。平成天皇は、在位30周年記念式典において、国の安寧と人々の幸せを祈り続けたと述べられた。そして、象徴としていか

にあるべきかを考え続けてこられたと述べられている。その模索する道は果てしなく遠く、次の時代更に次の時代へと象徴としてのあるべき姿を求め、先の時代の象徴像を補い続けてゆく事を願うと述べられた。

平成天皇は、象徴としてのあるべき姿を具現されていると思われる。国民に寄り添い、被災地へ何度も足を運ばれた。人々がどれほど勇気づけられたことか。先の戦争の惨禍にも心を痛めておられ、沖縄やサイパンなどに慰霊に訪れている。戦争の被害にあった人々の心をいかに救ったことだろうか。象徴とは、国民に寄り添い、国民と共にあるものであろう。そして、国の安全と平和を祈る存在である。平成天皇は正に、この象徴としてのあり方を具現しておられたと思われる。

新天皇の御代となっても、国民と共に笑い泣き国民と元に進む象徴像を示して頂きたい。日本国の平和を体現する象徴としての在り方を示して頂きたいと願うものである。

新しき 御代を寿ぎ

願わくは

太平の世の人のやすらひ



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス (Themis…ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します) を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、左手の剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

高齢者の虐待を防止するに当たっては視点が重要です。3つの視点から考えていきましょう。

1つ目は、権利擁護の重要性を認識することです。権利擁護とは高齢者が自己の権利を主体的に行使できるように支援したり、代弁することです。高齢者は、虐待を受けていても助けを求める力が弱っています。誰にも気づかれずに虐待が進んでいることがあります。高齢者の人権擁護の重要性を意識して、虐待に気づいてあげることが重要です。

2つ目は高齢者の支援の視点です。高齢者の虐待を防ぐための支援として、未然防止と早期発見があります。未然防止と早期発見のためには、外部とのつながりが重要です。高齢者は家の中にこもりがちですが、虐待は身内の間で発生する割合が結構高いものです。高齢者が外部とつながっていれば、虐待の未然防止や早期発見につながります。具体的には民生委員や自治会の人との連携です。また、保健、医療、福祉関係の人たちとの連携です。

このような人たちが高齢者と接する機会

身近な法律シリーズ (56) 高齢者虐待防止法 ②

が多ければ、未然防止、早期発見が出来ます。そして、虐待解消の動きへと繋げることが出来ます。

高齢者支援については、主体性の尊重とか自己決定権の尊重といわれることがあります。しかし、虐待の現場では何より、安全・安心を優先すべきです。高齢者は虐待を受けながらも家族に面倒を見てもらいたいということがあります。人間の心理をしてわからないことはないのですが、客観的に見て虐待されていると判断できる場合には、安全・安心を優先すべきです。

第3の視点は養護者の支援です。養護者による虐待が多く見受けられますが、何か原因があるはずで。虐待の発生要因を見つけ、取り除くことが大切です。養護者を責めるのではなく、その立場を理解し、虐待に至る要因を取り除いてあげることです。養護者も支援してあげるといことです。養護者を支援する機関もあるので、そちらへつないであげることが大切です。

今回は、虐待対応の体制などについて考えます。



ちよつとひといき

事務局 K・K

夫の単身赴任、娘の一人暮らし、息子の進学で、私も一人暮らしになった。そうなる日々の献立を考えるのも気楽になる。家族の好みを考えることなく、その日の気分で食べたいものを食べる。そんなある日、スーパーで一粒づつ包装された「プレミアム大粒蠣」が目にとまる。今夜はこれに決まり。白ワインもあるし・・・。

翌日、朝からお腹の調子が悪く、仕事を早めに切り上げ、帰宅。飼い犬の世話だけ何とか済ませ、布団に潜り込む。腹痛以外に悪寒がし、関節が痛み、熱も出てきた。これはインフルエンザか？と思いながら、トイレに駆け込む。突然吐き気も加わり、原因は蠣だと気付く。

翌日、やはりウイルス性胃腸炎と判明。お気楽な一人暮らしに天罰か！と一人反省した。



フアイト!!

事務局 K・S

春、はじまりの季節。新生活のスタート！

我が家の長男が新入生となる為、新生活の準備に追われた。長男の銀行のカードを久しぶりに使ってみたところ、暗証番号が違いロックがかかってしまった。当然馴染みの番号だと思っていた私は、頭の中が検索グルグル状態。窓口でロック解除してもらい再度チャレンジ。しかし... また違った。仕方なく照会の手続きをしてその日は帰宅。照会後は後日簡易書留で自宅に届く。さて、どんな番号が届くのか。待つこと5日。

さあ番号は...は？え？そうきたか！予想外の番号。私は、10年前の私に向かって説教したい気分。翌日、暗証番号は記憶力の良い主人によって変更された。

八十八ヶ所巡り

その20

75番善通寺の続き。善通寺は真言宗善通寺派の総本山であり、弘法大師ゆかりの三大霊跡のひとつでもある。他の2つは高野山の金剛峯寺と京都の東寺である。

総本山らしく境内は広い。善通寺市の町中にあり、道路を挟んで東院と西院に分かれている。立派な山門は東院にある。山門を入るとすぐ右前に五重塔がある。山門の正面には本堂がある。ご本尊は薬師如来である。東院には樹齢千年を越える楠もある。



西院に御影堂（みえどう）がある。いわゆる大師堂のことである。この御影堂が建っている場所で大師は誕生したと言われている。産湯を使ったといわれる井戸もある。御影堂には戒壇めぐりというものがある。御影堂の地下の真っ

暗な通路を歩いて回る。南無大師遍照金剛のご宝号を唱える。悪業のある者は二度と出られないと言われていている。

西院には宝物館があり、多数の重要文化財が納められている。納経所も西院にある。広い駐車場が西院の側にある。車で参拝する人は西院側から入ることになる。西院と東院の間に小さな川（堀）があり、季節には蓮の花が浮かんでいる。



西院に遍照閣がある。平成26年に私たち夫婦は公認先達になるための研修をこの遍照閣で受講した。研修後、新米先達には、先達経典、先達用の輪袈裟、金剛杖、納経帳が授けられる。もったいないことである。

朝参り 大師の郷に 蓮の咲く

(Y・O)

高松ウオッチング

事務局 E・O

以前は、裁判の時、法廷の正面、真ん中あたりで裁判の記録をタイプで打っている人がいた。速記官である。今は速記官は消え、録音して文字起こししているとの事。

ここからは、我が家のお話。私は長女・次女と、ラインで情報交換。

つい先日のこと、1歳3ヶ月の男の子Kちゃんが自撮り（次女が映していた携帯を奪う）しているビデオが届いた。とてもひょうきんでおしゃべり（誰に似たのか）。

以下私と長女次女のライン。

長女：リラリラ語、めっちゃかわいすぎ
～しかし、何一つ意味わからん。

次女：ずっと、高い早口でしゃべってる。
リラリラ語だれか通訳してくれ～。

これに反応した私、子供たちを驚かそうと速記官に変身。1分間の聞き取り所要時間は1時間強。その録画解説以下の通り。

「うぎゃ～キャーギャー キャー たーた

キャーキャーたかい キャータ ほ！

きゅ～うぎゃ～うト・・・中略・・・

ケッケツ～キャーキャー いこ オあいた！

たかいたか～いたかいたか

タツウ～タツウ～ たかいたか～い」

Kちゃん、意味なく耳にした単語をしゃべり続けていたのだ。記録をラインへ。

長女：まじめに解説に取り組んでるし～

次女：えっ 何この執念 こわい(笑)

長女：さすがです。でもひまだね。

キャータ ほ。

外部の方からの投稿です

Oquesera,será,será ♪なるようになる♪

事務局 M・K

昨年生まれた長男が8ヶ月になりました。腕力も根性もない私は、子供が生まれるまでは、片手で子供を抱っこしながら買い物等をしているママさん達を見て「私には絶対真似できない!」と思っていました。実際はどうだったかと言うと…

長男は2300グラムと小さめに生まれました。初めて抱っこした時には「軽すぎて羽根みたい!」(←大袈裟)ととても驚きました。首が座っていない赤ちゃんはフニャフニャで、抱っこするのもおっかなびっくり。けれど、

子供の成長は早く、いつしか首も腰も座り、気がつけばハイハイも覚えて立派に成長中。

そして、体重の方も、毎日ほんの何十グラムずつ増えていくと、自然と慣れていくものなんだなーと実感。今では9kg近くなった息子も、日々のトレーニング(?)のおかげでちゃんと片手で持っています。

この筋肉のことを通称「抱っこ筋」というそうですね。まだまだ増え続ける子供の体重。ムキムキのママさん目指して、引き続き頑張るぞ!